

高精度波長分散測定装置

1993 年（平成 5）に、光ファイバ長の変動に起因する位相揺らぎをキャンセルする機能を備えた、高精度の波長分散測定装置を開発した。波長分散特性は光パルスの波形歪みを生じさせ、長距離伝送では光ファイバ非線形現象を介して多くの伝送品質の劣化要因をもたらす重要な特性である。本装置は、TPC-5 CN 以降の光海底ケーブルシステムの研究開発、製造および建設に貢献するとともに、光計測機メーカーへライセンス供与され現在も広く使用されている。

出典：KDD 社史